

- 日時: 令和7年4月19日(土) 13:00~14:10
- 会場: 結とぴあ(多田記念大野有終会館) 福井県大野市天神町1番19号
- 主催: 国土交通省 近畿地方整備局、福井県、大野市
- 出席者: <招待> 山崎参議院議員、稲田衆議院議員、滝波参議院議員、辻衆議院議員、波多野衆議院議員、佐藤参議院議員、宮本福井県議会議長、高田大野市議会議長、地元関係者、学識者、自治体関係者、大野市内小学校揮毫最優秀者・優秀者、施工業者ほか
- <主催> 高橋国土交通副大臣、草野水管理・国土保全局砂防部長、出口近畿地方整備局副局長、杉本福井県知事、石山大野市長ほか 合計132人
- 次第: 開式、式辞、主催者挨拶、来賓祝辞、来賓紹介、祝電披露、事業経過報告、目録引き渡し、記念碑揮毫者表彰、記念碑除幕及びくす玉開披、祝い太鼓、閉式

■九頭竜川水系直轄砂防事業の概要

昭和40年9月の奥越豪雨では未曾有の大雨となり、流域内のいたるところで山腹が崩壊しました。昭和53年度より、流域からの土砂の流出を抑制するとともに、真名川ダム、笹生川ダムの治水機能を長期にわたって維持安定を図るほか、国道157号や発電施設等の保全を目的に砂防事業を進めてきました。



高橋国土交通副大臣
関係者の皆様に感謝。47年間で32の砂防堰堤を整備し当初の目的を達成。今後も国土強靱化に全力で取り組む。

杉本福井県知事
国道157号、笹生川ダムを守る事業でもある。九頭竜川全体防災につながる。これからも県内の施設整備・維持に力を入れていく。

石山大野市長
市は砂防事業の必要を訴えてきた。事業に関わった多くの方々に御礼申し上げる。豪雨はどこでおこるか分からないので備えていきたい。

山崎参議院議員
国・県の支援を得て事業完成にあたり無上の喜び。砂防事業、西谷村は私の原点。これからもふるさとのために、頑張りたい。

稲田衆議院議員
奥越豪雨60年の節目に事業完成。先進的な工法や、環境への配慮など、素晴らしい工事であった。これからも国土強靱化に尽力する。

滝波参議院議員
九頭竜川本川が真名川ダム、九頭竜川ダム、砂防事業によって支えられている。国土強靱化の必要性を訴えていきたい。

辻衆議院議員
議員だった父もこの事業には特別な思い。実家が土砂災害で被災した経験もあり砂防事業の必要性を痛感。水との共存に取り組んでいく。

波多野衆議院議員
完成式典への出席を嬉しく思う。長期目線での取り組み、地域の協力で砂防事業と政治の共通点を感じた。

佐藤参議院議員
国土強靱化では地方への分散が重要。福井に安全な場所をつくる。その1つが直轄砂防事業。日本の安全を福井から守る。



目録引き渡し

記念碑除幕及びくす玉開披

祝い太鼓(奥越太鼓保存会)
【問合せ先】
国土交通省 近畿地方整備局
河川部 河川計画課 総合土砂災害対策係
TEL 06-6945-6355